

各 位

2021 年 03 月 08 日

横浜市都筑区仲町台三丁目 12 番 1 号

株式会社ソディック

代表取締役社長 古川 健一

電話 045-942-3111 (代)

(東証第一部コード番号 6143)

新製品

次世代の「脱気機能付き 熱硬化性ゴム射出成形機 GL-LSR シリーズ」販売のお知らせ
“エアトラップ”を大幅に改善し、自動車、鉄道、航空機など様々な分野に対応

このたび、熱硬化性ゴムの素材に含まれるエアを除去しながら射出成形機に直接供給する装置、「脱気機能付きスタフファボックス」を開発し、ソディックの熱硬化性ゴム射出成形機「GL-LSR (Liquid & Solid Rubber) シリーズ」に搭載、販売を開始いたします。

工業用ゴム製品は、世の中のあらゆる場所で使用されており、身近なゴムパッキンをはじめ自動車、鉄道、航空機など様々な分野で不可欠なものとなっています。

今回開発した「脱気機能付き 熱硬化性ゴム射出成形機 GL-LSR シリーズ」は、当社独自の新技术による「脱気機能付きスタフファボックス」を搭載したことで、液状材料に比べ粘度の高い固形ゴム素材の射出成形で問題となっている“エアトラップ（金型内で空気が閉じ込められた状態）”を引き起こす空気をほぼ完全に除去することができます。またこの脱気工程と、射出成形機へ供給する圧送工程を、連続的に行えます。

これにより固形ゴム素材の射出成形による生産において、高密度充填、加硫時間（硬化時間）の短縮、金型構造の簡素化、高含気率材料の使用が可能になり、さらに、成形品質の向上、生産性の向上（サイクルタイム短縮）、金型のコストダウンと工程能力アップ、材料ロス低減効果が期待できます。

これまで熱硬化性ゴム成形の自動化、省人化の取り組みは、材料の投入から製品の取出しまでクローズドで行われる射出成形においては、液状材料を中心に行われてきましたが、コストや機能性、加工(加硫)時間の改善により、固形ゴム素材（以後、ミラブル型ゴム）による射出成形法へのシフトが進められていました。

しかしながらミラブル型ゴムは、素材の中に多くの空気を含んでおり、粘度が高いため液状ゴム材のような脱泡処理ができません。空気を巻き込んだ材料は成形品でエアトラップを起こしやすく、これは金型内を脱気するだけでは解決することが難しい不良であり、固形ゴム素材の射出成形において長年の課題となっていました。

今回、販売を開始する新製品『脱気機能付き 熱硬化性ゴム射出成形機 GL-LSR シリーズ』は、工業用ゴム製品の製造を革新する次世代の製品であり、材料ロス削減や不良品の低減により環境負荷を軽減させ、SDGsにも貢献できるものと考えております。

●「脱気機能付き 熱硬化性ゴム射出成形機 GL100-LSR」外観



●販売予定価格および生産目標台数

- ・標準価格（60トン仕様） 脱気機能付き GL60-LSR： 1,420万円～（税抜き）
- ・生産目標台数： 10台／年

●お問い合わせ先

株式会社ソディック
マーケティングセンター
TEL：045-530-2006

以上